

# 火葬場について考える会 議事録および活動報告



平成26年7月20日

火葬場について考える会 会長 片山 奈緒美

いよいよ夏本番、桃の収穫も最盛期を迎え、暑い中がんばっておられることと思います。

さて、会議の報告が大変遅くなりましたが、私もやっと夏休みを迎え、少し自分の時間がとれるようになりました。しっかりと発信しようと思っています。

平成26年7月6日（日）午後7時30分より、馬屋上コミュニティにて、「火葬場について考える会」を行いました。

参加者は、河田弁護士と会員19名でした。

以下ご報告いたしますので、ご一読ください。よろしくお願いいたします。

## 活動報告

### ・三和総会について（福明忠氏より）

三和としての要望書を出すか、出さないかについて話したが、今の段階では時期尚早ということで、要望書については先送り。

ポーリング調査が終わってから。

富吉の新斎場建設推進協議会について、三和の町内会長であり、連合町内会長である遠藤氏に質問。

正式なものであるかどうかは分からないとのこと。

推進協議会としての要望書を提出しているらしいとのこと。どういうことなのか、連合町内会長として申し入れをすると行ってくださったそうです。

### ・6月23日（月） 鬼木議員の個人質問

「見直さんいうとけ！」という自民党岡山市議団・無所属の会、田口議員のヤジ

### ・極めて不愉快→公開質問状を送る予定（別紙参照）

平成26年7月6日（日）に、田口議員と自由民主党岡山市議団・無所属の会代表宛に郵送しました。

そして、翌7月7日（月）には、岡山市役所内の市政記者クラブへと足を運び、各社記者の方々全員に、公開質問状をお配りしてきました。回答期限は7月末日としました。

田口議員、会派からの回答はまだありません。

### ・KSBの記者（大野さん）より、取材の打診あり。

青山先生のブログもお読みくださり、今回の問題についてかなり興味を持って取材をしたいとのことでしたが・・・

「上司に相談しないといけないので、また相談後にご連絡します。」ということでした。しかし・・・それ以降連絡がありません。

報道各社もこの問題については触れたくないのでしょうか？

## これからの動きについて

河田弁護士より、これからの問題解決の方法についてのお話がありました。

ことが起こってから1年以内に監査請求というものを出すことができる。

不当な支出に対しての監査を要求するものだそうです。

これまでの経緯、「火葬場について考える会」の会員の様子などからみて、河田弁護士の見解としては、まず、

- ① 4億円もの支出をして土地を購入しながら、さらに7千万円もの調査費をかけて調査しなければならない土地であるという事実。これは不当な支出であり、税金の無駄遣いではないのか？というところから、監査請求を試みる。
- ② おそらく蹴られるであろうから、今度は、土地購入価格についての監査請求を出す。
- ③ それでもけられたら、住民訴訟を起こす。

以上のような段階を踏んだ住民運動を続けていくのはどうか？との提案をいただき、その場にいるメンバーはみんな賛成しました。

そこで、7月12日（土）に、河田弁護士事務所にて、河田弁護士・大本弁護士・寺山弁護士・鬼木議員、そして片山奈緒美の5人で打ち合わせ会を開催しました。

住民訴訟に向けて、河田弁護士は、大本弁護士、寺山弁護士の3名が、弁護団として私たちの住民運動に力を貸し、後ろ盾となってくださいます。

今、資料集めなど、訴訟の準備を着々と進めているところです。

**みなさん、あきらめずに反対しましょう！**

**必ず、扉は開かれます。**

今回の監査請求を出すことによって、記者会見し、この火葬場問題を岡山市全体に広め、岡山市民の問題として議論できる環境をつくり、街頭でのビラ配りや、カンパ活動などにつなげていきたいと思っています。



### ・都市計画審議会、メンバーへの早めの働きかけ

今回の問題の経緯を、夏休みの間に、メンバー全員に郵送いたします。可能ならば、面会も考えています。また、段取りが決まれば、連絡網にてお知らせいたします。

### ・7月12日（土）

岡山市御津の産廃阻止同盟の報告会に行ってきました。裁判までの長い道のり、裁判で読み上げた「意見陳述書」など、どれも身につまされる活動の足跡に感動し、涙があふれて困りました。まさに、今の私たちと同じ気持ちで、13年間闘い続けてきたのです。その姿は堂々として力のあるものでした。

私たちもそのようになりたい、と心から願いました。

最後に、「御津に産廃つくと」という歌をみんなで歌いました。懐かしい芹よう子さん

の「四季の歌」(春を愛する人は～♪という歌です)の替え歌で、うたっているうちにじ～んとしました。参考までに、その歌詞を載せておきます。

私たちがデー  
マソングがあれば  
ばいいな・・・  
募集します!  
な～んてね(笑)



♪「御津に産廃つくると」♪

- 1 御津に産廃つくると 有害物質で  
旭川下流市民の 水が心配
- 2 御津の虎倉(こぐら)に敷かれる ポリエチレンシート  
大量 産廃 重圧で 破れてしまう。
- 3 御津の河内(こうち)の産廃は 「安定」というけれど  
必ず付着物があって 悪さする
- 4 ここに青酸カリを 薄めた水がある  
ただちに健康害さぬが 飲んでみますか
- 5 産廃反対することは 岡山市民の  
命と健康を守る 僕らの権利

・7月13日(日)

徳島県美馬市にて、2014年ゴミ弁連総会が開催されました。

「各地からの報告」の中で、〈岡山市火葬場問題 これまでの経緯について〉という資料(別紙参照、赤いバラのついたチラシの裏に印刷した用紙です。)を持って行き、話をさせていただきました。参加者のみなさんから大なる共感と私、たちの活動への激励をいただきました。本当に元気が出ました。高梁市で産廃の反対運動をしている「佐与谷川を守る会」の皆さんとも交流をすることができ、今後とも連携をとっていきましょう!ということになりました。これからも、どんどん、どこへでも出かけていき、現状を訴えてきます。どこに出てもみなさん、「おかしい」と言います。普通に考えると、やはり、誰がみてもおかしいことが、岡山市で起こっているのです。みなさんも色々な集会に出かけてみませんか?また、お誘いします。

・7月19日(土)

社民党岡山県連合の福幹事長 野崎保氏が我が家を訪れました。

徳島に行った時に知り合った「佐与谷川を守る会」のメンバーさんからのご紹介でした。「社会新報」の岡山地方記者をなさっておられる野崎氏は、私たちの問題について「全く知らなかった。勉強させてほしい。力になれることがあれば。」と真剣に話を聞いてくださいました。野崎氏も、「まずは、理解者をふやすことです。」とアドバイスしてくださいました。

野崎氏は、ことの成り行きをお聞きになりながら、「H24年9月29日の富吉臨時総

会」(富吉が条件付き賛成決議をとった会) そのものが、民主的手続きに違反しているんじゃないか?そもそも岡山市からの説明もなしに、決議をとることがあり得ない。」と言われました。

何から何まで「おかしい」ことだらけの今回の騒動。

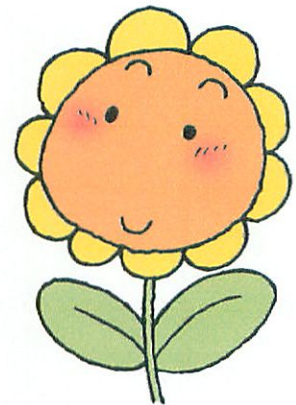
今後の学習会にはできるかぎり参加します!とってお帰りになりました。

少しずつではありますが、私たちの運動に共感し、協力してくださる方が確実に増えています。

みなさん、今後ともがんばっていきましょう!!

できるところで、できることを、それぞれが力を出し、ずっとつながっていること・・・それが大きな力となって世の中を動かすのです。

私は、きっと動かせると信じています。



片山 奈緒美